

自然をみる技

江戸時代の大
名たちも、虫
や植物などの
自然を観察し
ていたんだな。



入口入って
すぐ右へ

日本

館

1 階

V-9

好奇心から生まれる科学の眼



1

顕微鏡の第一歩

江戸時代初期

…顕微鏡が作られる前には「不思議な（レンズ）で小さなものをみていた。」

江戸時代中期

…西洋の文化が入り、レンズを組み合わせた顕微鏡が作られるようになる。



にはそれぞれ
違う漢字が
1字入るよ
何の文字が
入るかな？

土井利位は（ ）の結晶を観察した。

1832年
華図説



印象に残った
ものを1種類
かいてみよう

日本

館

1 階

V-10

極微の世界への挑戦



2

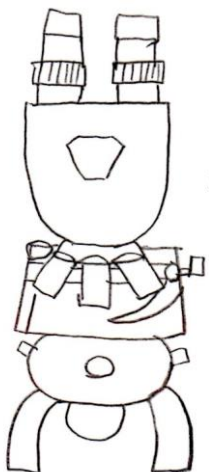
顕微鏡の発展により発見されたこと

團ジーン博士の位相差顕微鏡

細胞を（ ）（ ）（ ）（ま）（ま）観察
できるようになった。



位相差顕微鏡ってどのようなところがすごいのだろう？



投影されている映像も見てみよう

展示されている
顕微鏡は、日本
の技術史上にお
いても記念すべ
き顕微鏡だよ



入口正面にある
トローン天体望
遠鏡の裏側へ

日本

館

1

階

V-03

望遠鏡で何を見てきたか



3

遠眼鏡のしくみ

5種類の遠眼鏡があるね。紙を貼り重ねて糊づけして筒にしたんだね！

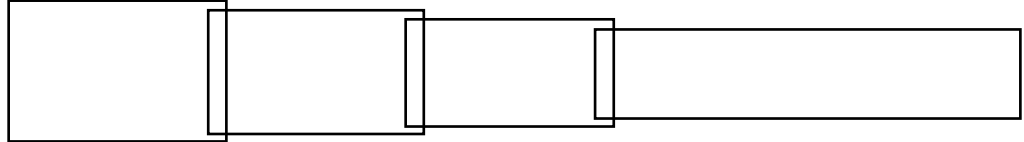


望遠鏡は（ ）年に発明され、わずか5年後に日本に入ってきた。

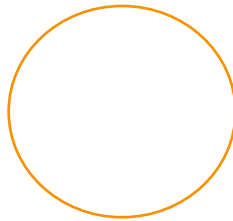


遠眼鏡分解見本を見ながら、レンズがある位置を書きこもう。

第一筒



展示されているガラスケースの右側から江戸時代の遠眼鏡をのぞいてみよう



←見えるものは、「

」



小さいものを大きく、遠くのを近くにみる技術が発展したことは、私たちの生活のどのようなことに役立てられただろうか



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名